

自閉症の特性と支援のポイントについて

このリーフレットは、小・中学校及び養護学校の先生方に、学校生活で想定される自閉症の子どもたちの姿や抱える困難について、考えていただくものです。

1

対人関係について

人とのかかわり方が独特

- ☆表情や身振り・手振りを使ったり、理解したりすることが苦手
- ☆人とのかかわり方が一方的
- ☆興味や楽しみを他者と分かち合うことが困難
- ☆人の気持ちを察することが苦手

2

言葉によるコミュニケーションについて

言葉を状況や場面に合わせてうまく使えない

- ☆一方的で分かりにくい、話が飛びやすい
- ☆回りくどく、独特な言葉や調子で話をする
- ☆代名詞や言葉の裏の意味、曖昧な表現が通じにくい
- ☆冗談や皮肉が通じにくい

3

こだわりについて

生真面目・融通が利かないことがある

- ☆特定のマークや同じ色の服しか着ない
- ☆当番などきちんとやらないと気が済まない
- ☆時刻表や商標、特定のキャラクターに異常なほど興味を示す
- ☆回る物やキラキラ光る物を見続ける

4

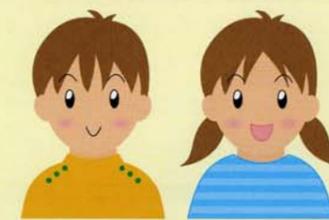
環境の変化について

いつもと変わったときに困ってしまう

- ☆いつもと同じ手順や順番でないと困ってしまう
- ☆いつもと違うスケジュールだと困ってしまう
- ☆ものの置き方や道順の変化を嫌がる

自閉症・自閉的傾向の

8つの特性



5

見通しについて

時間と空間の意味づけが苦手

- ☆「ここはどこ？」
- ☆「なにをやる場所？」
- ☆「いつまで やればいいのか？」
- ☆「この後 どうなるの？」がなかなかわかりません

6

感覚について

聴覚・視覚・味覚・嗅覚・触覚の過敏さ

- ☆大きな音が反響する体育館などの場所や集会、朝会などの雰囲気は苦手
- ☆耳垢をとることや散髪が苦手
- ☆のりや絵の具が手に付くことが苦手
- ☆トイレやプールの臭いが嫌で入ることができない
- ☆野菜や肉が極端に苦手などの偏食がある

7

多動・衝動性について

落ち着きがなく、考える前に行動してしまう

- ☆体の一部を常に動かしていたり、じっとしていられなかったりする
- ☆落ち着きがなく、すぐに席を離れてしまう
- ☆思いつくままに行動してしまう
- ☆教師の話最後まで聞かず突然答えを言ってしまう
- ☆待てなかったり、順番が守れなかったりする

8

パニックについて

きっかけは、周囲に!!

- ☆感覚の過敏性
- ☆自分の希望・思いと周囲や現実の状況が違う
- ☆やるべきこと・状況がわからない
- ☆過去の嫌なことを何かのきっかけで思い出す



参考となる図書について紹介します。

自閉症ガイドブック	シリーズ1	乳幼児	編	日本自閉症協会
自閉症ガイドブック	シリーズ2	学齢期	編	日本自閉症協会
自閉症ガイドブック	シリーズ3	思春期	編	日本自閉症協会
応用行動分析で特別支援教育が変わる			山本淳一編	図書文化社
応用行動分析学入門			小林重雄編	学苑社
広汎性発達障害の子どもたち—高機能自閉症・アスペルガー症候群を知るために			辻井正次	ブレイン出版
高機能自閉症・アスペルガー症候群入門 正しい理解と対応のために			杉山登志朗	中央法規出版
すぐに役立つ自閉症児の特別支援Q&Aマニュアル—通常の学級の先生方のために			廣瀬由美子他	東京書籍
自閉症児のための絵で見る構造化—TEACCHビジュアル図鑑			佐々木正美	学習研究社
アスペルガー症候群と高機能自閉症の理解とサポート			内山登紀夫	学習研究社
アスペルガー症候群の子育て200のヒント			ブレンダ ポイド	東京書籍
自閉症や知的障害をもつ人とのコミュニケーションのための10のアイデア			坂井聡	エンパワメント研究所
自閉症スペクトル—親と専門家のためのガイドブック			ローナウイング	東京書籍
ソーシャルスキルプログラム			飯塚直美訳	スペクトラム出版
自閉症のTEACCH実践			佐々木正美	岩崎学術出版社
認知発達治療の実践マニュアル			太田昌孝	日本文化科学社
自閉症児の保育・子育て入門			中根晃	大月書店
講座 自閉症療育ハンドブック			佐々木正美	学習研究社
自閉症療育実践ガイドブック			国立特殊教育総合研究所編	ジアース教育新社



埼玉県内の問い合わせ・相談機関等について

埼玉県立総合教育センター	さいたま市緑区三室 1305-1	048-874-3400
国立秩父学園発達診療所	所沢市北原町 860	04-2992-2859
社団法人 日本自閉症協会	東京都中央区明石町 6-22	03-3545-3380
埼玉大学教育学部附属養護学校特別支援相談室「しいのみ」	さいたま市北区日進町 2-480	048-654-0961
埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」	川越市平塚新田東河原 201-2	049-239-3553

最寄りの県内の公立盲・ろう・養護学校へ



子どもへの支援の手がかりとして、県立総合教育センターのホームページに「自閉症の特性と支援Q&A集」を掲載しています。次のアドレスにアクセスしてください。<http://www.center.spec.ed.jp/>

子どもたちの発達を支援する 環境をつくるために考慮する点は、

①「どのように」 ②「何をか」です。

紹介する8つの特性についての項目が、子どもたちを支援するための
有効な手段を考えるヒントになればと願っています。

対人関係について

1

- 指示は具体的に出して確認をする。また、一度出した指示は安易に変えない。
- 目・表情や身振り・手振りなどを工夫して、かかわり手の意図・気持ちを伝えてみる。
- 大きな声で叱らない。本人がうまくできた時には、わかりやすくはっきり褒める。
- 続けざまに質問するようなかかわり方はしない。

言葉によるコミュニケーションについて

2

- 指示など言葉かけをした後は、子どもの様子をしばらくみる。
- 獲得した言葉、あるいは獲得出来そうな言葉はできるだけ日常的に使うようにする。
- 注意をする時には、「ちがう。～しない」よりは、「～する。～しよう」と肯定的な言葉で話す。
- オウム返しが出たときには、こちらの指示が理解できていないと判断して、指示の仕方を変えてみる。

こだわりについて

3

- 変える必要のあるこだわり行動は、少しずつ他の方法に変えていくようにする。
- こだわっている物や行動については、無理に取り上げたり打ち消したりしないようにする。
- がまんさせる必要があるときは、事前に「いつになったらできるか」を伝える。

環境の変化について

4

- 活動ごとに行う場所を決めて、むやみに変更しない。
- スケジュールの変更はできるだけ避ける。変更する必要があるときには事前に伝える。
- 具体的な物やマークによって、立ったり座ったりする位置が分かるようにする。
- 子どもが担当できる係の仕事など役割を設定する。

見通しについて

5

- 流れを追いながら説明すると共に確認をして、活動の見通しを持てるようにする。
- 学習では、手順や役割分担について明確にして理解を促す。
- 指示や教示では、写真、絵などの視覚的情報を提示することで見通しが持てるように工夫する。
- 自分で選択したり、自己決定したりするような場面を設ける。

感覚について

6

- その子ども特有の感覚について、過敏性などの状態を理解する。
- 苦手な音、臭い、感触、対人関係などへの状態を理解し配慮を行う。

多動・衝動性について

7

- 他傷行為等、反社会的な行動については、その場で注意する。
- 掲示物、雑音など活動の集中を妨げるものは取り除くように場所や場面を工夫する。
- 集団に気が取られがちな子どもには、時間をずらすなど調整したり、環境を変えたりしてみる。
- どうしたらよいか具体的なモデルを提示することで、望ましくない行動を減らしていく。

パニックについて

8

- 教員間の共通理解のもとで、同一の対応や支援を行う。
- パニックが起こりそうな時は、そのきっかけとなる状況を理解し回避する。
- パニックなど不安定になった時には、落ち着けるような言葉かけを行う。
- 大きな混乱については、落ち着けるよう一時的にその場所や場面から離してみる。

保護者について

- 情報提供については積極的に行う。
- 小さな変化でも、良かったと思われることは随時、保護者に伝えて情報交換を行う。